



2 **狩野派**  
《**厳島図**》  
17-18世紀(江戸時代)、  
紙本金地彩色

真っ青な海に浮かぶ江戸時代の厳島。  
空から見下ろすような視点で、人間や鹿も生き生きと描かれています。



かっこいいだろ〜  
金は永遠に輝く色だから、  
神さまや仏さまを描くときに  
よく使われるんだ  
だから、仏さまの化身である  
オレ(白象)にも金が使われたんだぞ  
厳島も、鳥そのものが神さま  
(二神体)だったから、全体が光り  
輝くように描かれているのさ  
神さまの肖像画みたいに  
鳥を描いた…ってことね!

あー  
もうダメだな  
霊夢さん?  
? ……  
それで…  
なのよ…  
こりや今日は  
もうダメだな

白い…象が…お腹に入っ…  
スピ  
そ  
そうなんだ…  
ありがたう!  
またね!  
寝ちゃうんだ  
ふたりとも  
またな!

黒くてもじゃもじゃ  
したものがいっぱい!  
これも日本画?  
島が光ってる!  
そうよ  
書道で使うのと同じ、墨を  
使って描いた**水墨画**ね  
作者は海藻をモチーフにしたそうよ

そう言われると  
海藻に見えなくもないけど…  
なんだか新しい生き物みたいにも  
見えて、不思議な感じがするわ  
墨一色だけど、濃くしたり  
薄くしたり、にじませたり、  
色んな使い方をしているね  
それで不思議な  
気配を絵に  
しちゃうんだから、  
面白いよな!

3 **児玉希望**  
《**海禾(新水墨画  
十二題)**》  
1959(昭和34)年、絹本墨画

作者は広島県(現・安芸高田市)生まれ。墨や日本画の  
絵の具を使って、草花や人物、風景などをいろんな表現で  
描きました。



まずは**日本画**の  
仲間を紹介するよ  
案内して  
くれるのは…  
あつ  
来た来た  
お〜い  
アカ! シロ!  
オレは  
白象!!  
よろしくな!!



1 **平山郁夫**《**受胎霊夢**》  
(1930-2009)  
1962(昭和37)年、紙本彩色

作者は広島県(現・尾道市)生まれ。右下の女性は、釈迦  
(仏さま)のお母さん、摩耶夫人。ここでは、白い象の夢を  
見て、釈迦を身ごもる場面が描かれています。

画面がキラキラしていて  
とってもきれい!  
キラキラしているのは、  
鉱物や貝殻を砕いた粉を  
絵の具にしているからよ  
日本では鉱物を使った絵具を  
「**岩絵具**」とも言うの  
古くから使われているものよ  
《受胎霊夢》さんは特に  
群青や白、金がかきれいだね  
あら  
ありがたう…  
一般的に群青は**アズライト**(**藍銅鉱**)  
白色は**貝殻**、金は**金箔**を原料にして、  
膠という接着剤と水でまとめているのよ  
岩絵具、私も使ってみよう!  
アズライト  
貝殻  
金箔

ようこそいらつしやいました…  
《**受胎霊夢**》と申します…